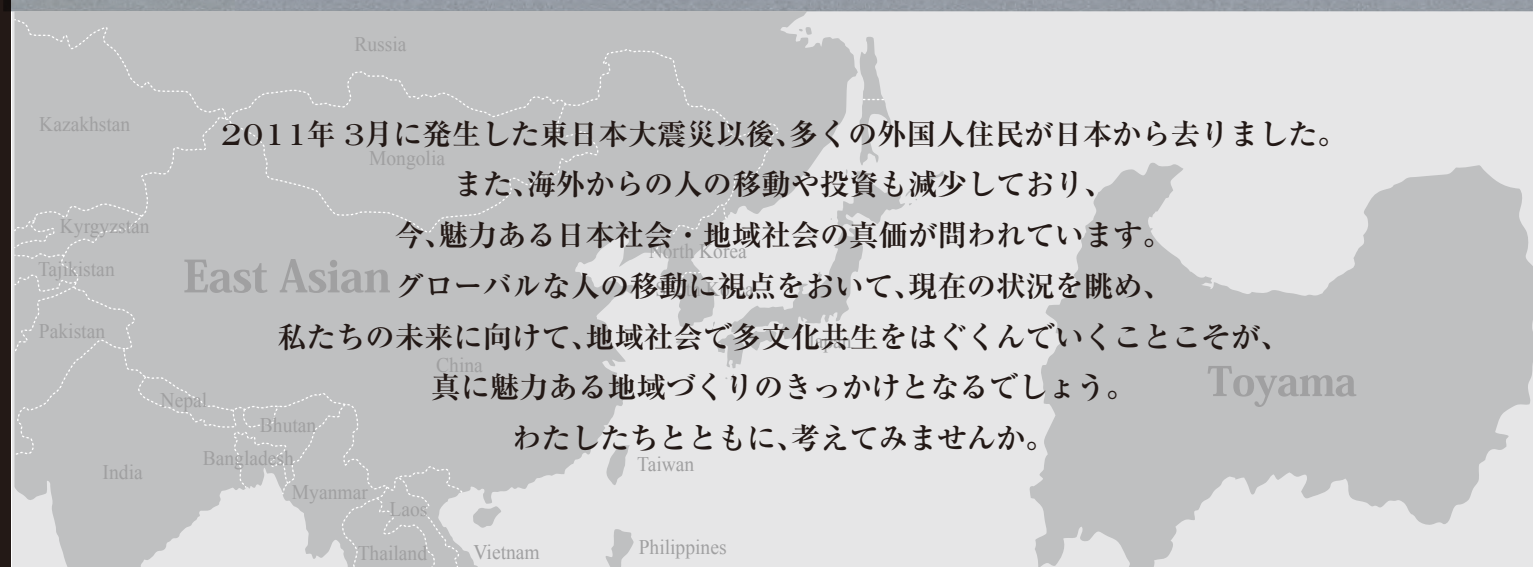




2011年 3月に発生した東日本大震災以後、多くの外国人住民が日本から去りました。
また、海外からの人の移動や投資も減少しており、
今、魅力ある日本社会・地域社会の真価が問われています。
グローバルな人の移動に視点をおいて、現在の状況を眺め、
私たちの未来に向けて、地域社会で多文化共生をはぐくんでいくことこそが、
真に魅力ある地域づくりのきっかけとなるでしょう。
わたしたちとともに、考えてみませんか。

timeschedule

東アジアとともにいきる富山県の未来

〈挨拶〉 後藤 純一（慶應義塾大学 教授）

〈報告会〉

第1部

研究報告（14:00 ～ 16:40）

基調講演 「多文化共生から始まる地域の未来」

○田村 太郎（一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表）

報告① 「日本の出入国政策の現状と未来」

○明石 純一（筑波大学 助教）

報告② 「富山県での受入事例から見た現状と未来

～中国人の技能実習生の現場から～

○林 広森（富済国際事業協同組合 専務理事）

聞き手：坂 幸夫（富山大学 教授）

（休 憩）

第2部

パネルディスカッション（16:50 ～ 17:30）

「地域経済を支える外国人住民と富山県の未来」

○後藤 純一（慶應義塾大学 教授）

○田村 太郎（一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表）

○明石 純一（筑波大学 助教）

○林 広森（富済国際事業協同組合 専務理事）

○宮田 妙子（NGO ダイバーシティとやま 代表理事）

モデレーター：柴垣 禎（NPO 多文化共生マネージャー全国協議会 理事）
（NGO ダイバーシティとやま 副代表理事）